

があり、県には県民の足として応分の負担をお願いしたいが難しい。西尾市と歩調を合わせて対応していきたいと考える。

竹内滋泰（自由クラブ）

稲葉市長2期目のマニフェストについて

問 地場産業の振興と活性化への施策を進め活気ある町づくりに努めるとある。中でも農業振興と活性化について伺う。

答 効率的な営農を支える基盤整備等を総合計画に掲げ、農業振興施策を進



2期目の所信表明を行う稲葉市長

めてきた。具体的な施策として、国内外への蒲郡みかん等のPR事業の推進、子ども農業教室の充実、食育の推進に努めていく。

問 蒲郡の子ども達が心豊かに、健やかに育つ教育環境の充実に努めるとある。具体策と文部科学省が示す適正規模・適正配置をどのように考えるのか。

答 適正規模・適正配置を考えるには、児童・生徒数や学級数の量的な側面だけでなく、教育課程や教育活動、地域コミュニティ等さまざまな視点から総合的な判断が必要と考える。

喚田孝博（自由クラブ）

ひとり親家庭支援について

問 子供の貧困の連鎖と言われる経済的家庭事情により学習の遅れがある子供たちへの学習支援についてどのように取り組むのか。

答 文部科学省として地域未来塾の設置を進めているが、本市としては、場所、指導者等のことも踏ま

え慎重に対応していきたい。

蒲郡駅北エリアの再整備について

問 名店街ビルも民間事業者に売却され、蒲信本店の移転もあり、蒲郡の顔としての駅北エリアの再整備が必要と考えるがどうか。

答 基本的には所有者の考えで土地・建物利用が進められることと考えるが、整備助成として「優良建築物等整備事業」制度について研究しておく必要がある



蒲郡駅北エリア

と考えている。

松本昌成（公明党）

地方創生への取り組みについて

問 人口の増加、出生率の向上を図るため子ども医療費助成制度の高校までの拡充を行う考えはあるか。

答 高校卒業まで入院と通院を全額助成する予算は概算で6千万円程度必要。費用対効果を勘案しながら検討していきたい。子育て支援対策として、専門の相談員を配置する子育てコンシェルジュ事業や病児保育の実施など新たな取り組みを充実させていきたい。

高齢者肺炎球菌ワクチンについて

問 接種率向上のため、再通知を行ってはどうか。

答 接種率が少しでも上がるよう、委託先の医師会と相談しながら、再通知の実施も検討していきたい。

柴田安彦（無会派）

職員の人事管理と出勤簿改ざん問題について

問 決算審査特別委員会では指摘した生命の海科学館前館長の出勤簿改ざん問題の調査結果は。

答 出勤簿は館長室に置か

れ、3月末に1年分をまとめて機械的に月、水、金曜日に押印したため、実際の出勤日と違いが生じた。大牟田、タイへの出張は私的なもので、出勤は誤り。指摘のあった4月から7月の水曜日、葬儀の日は出勤していない。決算審査特別

